

研究課題名	薬毒物による毒性発現プロセスの解析および重症度評価への応用
研究の意義・目的	覚醒剤を含む違法薬物や向精神薬などの薬物による中毒は、法医学診断において特徴的な所見が乏しいことから、死因鑑定において苦慮することがあります。しかしながら、一般に中毒死は機器分析を用いた血中薬物濃度の分析と剖検中の肉眼的所見に基づく主観的な評価のみに基づいて鑑定されます。そのため、中毒死の鑑定では、その重症度を客観的に評価できる手法の確立が望まれます。本研究では、薬毒物による毒性発現プロセスの解析により、その毒性発現の段階を評価することで、重症度評価に応用することを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2010 年 1 月~2029 年 12 月に大阪公立大学大学院医学研究科法医学教室で解剖された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	法医解剖において死因究明の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【血液、尿、心嚢液などの体液、心臓、肝臓、腎臓、脳、筋肉、肺などの組織】 鑑定情報：【年齢、性別、死因、死後経過時間、発病経過時間などの基本情報、生化学検査、病理学的検査、中毒学的検査により取得された情報】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は大阪公立大学大学院医学研究科法医学のみで行います。 【研究責任者】谷 直人
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	剖検情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 法医学 (担当者氏名) 谷 直人 電話番号：(06) 6645-3767 メールアドレス：gr-med-legalmed@omu.ac.jp